

スウスウ

風の谷 眠る森 葉音静か
走る馬車闇を裂く空は茜
パイパイ摘むスウスウは19の乙女
口ずさむ大地を称える歌
果実の色は肌に宿り 恋をしている

佇む木陰 響く祈りの声
腰おろす昼下がり ちぎれる雲
ロシア文字まじりのしゃれた手紙
読み返す瞳で女になる
日射しの色は肌に宿り 思いは遙か

スウスウは今日も待つ 緑の丘
遠く旅する人の帰りを待つ
イラワジ川髪を洗う娘
纏う衣の下の胸は豊か
夕陽の色は肌に宿り 涙あふれる

踊る群れ 砂は舞う 祭囃子
年老いた祈祷師は手を合わせる
銀河飛ぶホタルに姿変えて
光かかえて行けツンドラの国
宇宙の色は肌に宿り 愛を覚える